生活科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　2年２組

202３年２月２７日（月）３校時

指導者　岩見　桃香

1. 単元名　「自分たんけん～自分の成長を見つけよう～」　内容（９）「自分の成長」

２．単元の目標

　自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、過去の自分と現在の自分を比べたり、成長を支えてくれた人の存在や自分との関わりを見付けたりして、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとするようにする。

３．単元について

（１）児童の実態

本学級の児童は３１人。学習直後は「できるようになったこと」については自覚しているが、長い期間を振り返って「できるようになったこと」を聞いても思い出せない、答えられない児童が多いと思われる。それは、そのような問いかけをしたりみんなで考えたりする場を作ってこなかったこと、掲示物で可視化できていなかったこと等が原因だと考える。また、自分には「よいところがある」と思っていない子が２２．５％いる。学習のつまずきがある子や、生活態度を注意される子は自己肯定感が低く、「できないこと」に目を向けさせてしまっていることが原因と考える。

今回の単元では過去と現在の自分を比較し、自分の成長を探していくが、過去と現在の自分を比べる経験がほぼない。これまで、そのような場を日常の指導で意識的に作っていなかった。

また、授業の振り返りで自分のことについて振り返ることはあるが、支えてくれた人々にまであまり目が向けられていない。（振り返りで「自分は○○ができた。」は多いが、「○○さんの意見を聞いてできるようになった。」「○○さんに教えてもらってできるようになった。」は少ない。）自分についての振り返りばかりさせていたので、自分の成長に関わる人（友達、先生、親、地域の人）についての視点が足りていなかった。また、教え合ってできた場面はあるが、教師がその場面を把握できていなかったり、的確なタイミングで子どもにフィードバックできていなかったりしたことが原因であると考える。

学級全体として、意欲的な態度が多いとは言えない。それは、頑張って取り組んで「できた」という達成感を経験する機会を作れていなかったこと（場はあっても指導が不十分だった）、その子が成長した場面を捉えて認めたり励ましたりすることが十分ではなかったことが考えられる。さらに、生活の中で互いに支え合いながら、子どもどうしが「ありがとう」を交わすことが少ないことに気付いた。振り返ってみると、「ありがとう」という言葉の価値を考えたり、言うのも言われるのもうれしいという気持ちを育んだり、互いに交わす機会を意図的に作るような場を設定してこなかったと思う。

（２）教材について

この内容は、子ども自身が、これまでの生活や出来事について、具体的な場面やエピソードを思い出しながら振り返ることで、自分自身の生活や成長を見つめ直し、自分らしさや成長し続ける自分を捉えるとともに、支えてくれた人の存在や自分との関わりに気づくことができるものである。

自分のよさや成長を自分自身で見つけるだけでなく、それらを友だちや家族、まわりの大人たちからも伝えてもらう場面も設定でき、自分だけでは気づけない自分のよさや成長に気づける。そして、その成長を支えてくれた様々な人との関わりを振り返ることで、自分はこれからも成長できるという思いをもつとともに、支えてくれた人に対する感謝の気持ちをもつことが期待できる。

成長の喜びが更なる成長を願う心につながり、自信や意欲をもって生活しようとすることが期待できる、本学級の児童には最適かつ必要な内容であると考える。

（３）指導について

　小単元１「自分の成長やよさを見つけよう！」では、まず自分の体の成長をふり返り、自分の成長を実感できるようにする。そして、「体以外の自分の成長を見つけたい」という思いから、「自分たんけん①」を始めていく。児童が自分自身の成長やよさを自分で見つけられるように、掲示物等で学習したことやできるようになったことを可視化したり、思考ツールを使って多面的に考えたり、自分の成長がわかる具体物を家庭から持ってきたりするようにする。自分で見つけた成長やよさをわかりやすくするために、手・足・頭・心などの体の部分に視点をあてたワークシートを使い、まとめていく。

　小単元２「自分の『成長』について聞いてみよう！」では、２つの活動を行う。１つ目は、友達のよさや成長を「きらきらカード」としておくり合う活動（自分たんけん②）、２つ目はおうちの人やお世話になった人に自分の成長について聞く活動（自分たんけん③）である。

友達どうしでよさや成長を見付けることができるようにするために、学活で「ホメホメトランプカード」を繰り返し行い、ほめる視点を知ったり、ほめる練習を行ったりする。また、道徳「『きらきら』みーつけた」を関連付けて行い、相手が言われてうれしい言葉「きらきら言葉」を集めたものを掲示しておく。本時では「友達が教えてくれたから今まで気づいていなかった『いいところ』がわかった」というような声を引き出し「もっと他の人に聞いてみたい」という思いにつなぐ。

自分たんけん③の今まで自分を支えてくれた人によさや成長を聞く活動では、お家の人や兄姉や先生など、子どもが聞いてみたいと思う人に聞けるようにする。１回聞くと、もっと聞きたいことが出てくると考えられるため、２回聞く活動を設ける。その中で支えてくれた人の存在や自分との関わりを考える時間を取り、自分の成長にはたくさんの人が関わっていることに気付くようにする。

　小単元３「自分の『成長』をまとめよう、伝えよう！」では、これまでに集めた自分の成長を大きな用紙にまとめ、一目で自分の成長を実感できるようにする。１枚にまとめることで、自分の成長や支えてくれた人の存在や自分との関わりを関連付けて見たり、感謝の気持ちをもったりできるのではないかと考える。そして、見つけた成長やよさをお家の人に発表するようにする。発表会の名称を子どもたちで話し合って決めることで、自分たちが何のために、誰に、何を伝えたいのかという目的意識、相手意識、発表内容がはっきりすると思われる。発表会までの練習は、国語の授業と関連させながら行っていく。

　小単元４「これからの自分について考えよう！」では、これからの自分について考える活動を行う（自分たんけん④）。３年生への具体的なイメージを膨らませるために、３年生にアンケートやインタビューをお願いする。「３年生になるまでにどんなことを頑張ったほうがいいか」「３年生ではどんな楽しいことがあったか」「難しかったことは何か」などの３年生の声をもとに、これから自分が頑張りたいことやどんな自分になりたいかを考えるようにする。その思いをもとに、キャリア・ノート（大分県版）への記入も行う。最後にこの単元全体の振り返りを行い、この単元を通しての自分の成長や、気付き、思いなどを単元の流れを振り返りながら出し合い、自分たちの頑張りを喜び合いたい。

　なお、この単元に限らず、日頃から小さいことでも達成感を経験できる場面をつくり、子ども自身が成長を実感できるようにする。また、子どもどうしでよいところを見つけ合う活動を取り入れたり、「ありがとう」と言う子どもを価値付けたりすることも積極的に行っていきたい。「いいね」「すごいね」「なるほどね」という共感的、肯定的な言葉がけを心がけることも意識したい。

（４）単元の評価規準

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の  評価規準 | | 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 | 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、過去の自分と現在の自分を比べたり、支えてくれた人の存在や自分との関わりを見付けたりしている。 | 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 |
| 小単元における評価規準 | １ | 1. 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。 | 1. 具体的な手掛かりを見つけながら、過去の自分自身や出来事を振り返っている。 2. 過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長を捉えている。 | 1. 自分のことをもっと知りたいという思いをもって、自分の成長を振り返ろうとしている。 2. 知りたいことに合わせて、必要な手掛かりを見付けたり集めたりしようとしている。 |
| ２ | 1. 自分自身のよさや、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心などの内面的な成長に気づいている。 | 1. 友達のよさを見付けて伝え合ったり、「自分の成長」について聞きたい相手を思い描きながら調べ方を決めたりしている。 |
| ３ | 1. 集めた「自分の成長」を関連づけながら、自分らしさや成長した自分を捉えている。 2. 自分の生活を支えてくれた人の存在や自分との関わりを振り返り、表現している。 | 1. これまでの生活や成長を支えてくれた人に感謝の気持ちをもち、成長した自分に自信をもって意欲的に生活しようとしている。 |
| 1. 自分の成長を支えてくれた人の存在や自分との関わりに気付いている。 |
| ４ |  | 1. ３年生になる自分を意識しながら、これからの生活について表現している。 |

（５）指導と評価の計画（全３４時間：生活２６＋道徳４＋国語３＋学活１）

～道徳、国語、学級活動との合科的・関連的な指導～

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 時 | 主な学習活動 | 評価規準 | | | | | 評価方法 |
| 知 | | 思 | | 態 |
| **小単元１**  **(8時間)**  **自分の成長やよさを見つけよう！**  自分たんけん①  ○生活７時間  ★道徳１時間 | １  ２  ３  ４  ～　　　７  ８ | ○成長の記録カードを作り、自分の体の成長を振り返る。  ぼくは１年生の時から身長が８ｃｍも伸びていたよ。  ○体以外にも成長したことがないか考える。絵本「大きくなるということは」を読む。  ・「大きくなった＝成長した」と確認し、成長の定義（今段階）につなぐ。  大きくなった、できないことができるようになった、人の気持ちを考えられるようになること、考える力がつくことなど。  ・成長の定義を受けて、自分の成長を見つける「自分たんけん」を始める。これまでの学習を思い出して、「たんけん」という言葉の意味を共有する。  体だけではなくて、心や頭も成長したよ！  自分の成長を見つけたいな！  ★道徳で「ミーボーしんぶん（個性の伸長）」を扱う。（１）  〇掲示物や具体的な手掛かりを見たり、思考ツール等を使ったりして自分で自分自身の成長やよさを見つけ、ワークシートⒶにまとめる。  ※ワークシートⒶ・・・手、足、頭、心などの体の部分に視点をあてたもの。  ○前時に作ったワークシートⒶを見合ったり、その内容を伝え合ったりして「自分の成長をもっと見つけたい」「他の人にも聞いてみたい」という思いを引き出す。  繰り下がりの引き算も九九も難しい漢字も覚えられるようになったよ。もっと見つけたいな！ | ① | | ②  ①  ② | |  | ・発言  ・行動観  　察  ・ワークシート |
| **小単元２**  **(9時間）**  **自分の「成長」について聞いてみよう！**  自分たんけん②  ・「よさ」や「成長」を友だちと見つけ合おう！（4時間）  ○生活３時間  ★道徳１時間  自分たんけん③  ・お家の人やおせわになった人に聞いてみよう（５時間）  ○生活４時間  ★道徳１時間 | ９  10  ～11  12  本時  １３  １４  １５  １６  １７ | ★道徳で「きらきらみ～つけた（個性の伸長）」を扱う。（１）  □ここまでに、学級活動で「ホメホメトランプカード」を使ったゲームを繰り返している。  ○グループの友だちに「きらきらカード」を送るために書く。  ・事前にグループの友だちのよさを見つけておくように促す。  ・「きらきらカード」を書いたら、「先生のポスト」に入れる。  ○友だちから自分のよさや成長を見つけてもらい、自分のよさや成長をふりかえる。  ・おくられた「きらきらカード」を読んで感想を出し合う。  ・「きらきらカード」を読んで、ワークシートⒶに「よさ」や「成長」を書き加える。  自分では気づいていなかった、いいところを見つけてもらえてうれしいな！友だちにも喜んでもらえてうれしいな。もっと自分のよさや成長をさがすにはどうすればいいかな？  ・友だちが教えてくれたから、「今までに気づいていないいいところがわかった」というような声を引き出し、「もっとほかの人に聞いてみたい」という思いにつなぐ。  ・友だち以外の誰に聞く？いつ聞く？どうやって聞く？等について話し合う。→聞く相手としては、お家の人、祖父母、兄弟、先生たち（園、１年生担任、２年担任、支援員、児童クラブ、習い事等）が予想される。  ★道徳で「１まいのしゃしん（生命の尊さ）」を扱う。（１）  ○誰にどんなことを聞きたいか考えて、インタビューの準備をする。  お家の人に自分の好きなところを聞いてみたいな。  おばあちゃんに自分の成長を聞いてみたいな。  【家庭学習など】インタビューをする。（直接、電話、手紙、メール等）  ○調べてみて分かったことをまとめたり、まだ聞きたいことを見つけたりして２回目のインタビューの準備をする。  お家の人から自分の我慢強いところを教えてもらったよ。  もっと他にも聞いてみたいな。  ○調べて分かったことをまとめる。  児童クラブの先生には手先が器用なことを教えてもらったよ。自分のことをたくさん知ることができて嬉しいな！ | ② | | ③ | |  | ・発言  ・行動観  　察  ・ワークシート  ・きらきらカード  ・発言  ・行動観  　察  ・ワークシート  ・インタビュー  カード |
|  | 18  **小単元３**  **(12時間)**  **自分の「成長」をまとめよう、伝えよう！**  ○生活８時間  ★道徳１時間  ♢国語３時間  19  ～  21  22  ～26  27  28  29 | ★道徳で「わたしのものがたり（生命の尊さ）」を扱う。（１）  ○これまでに集めた「自分の成長」を授業参観日におうちの人に伝えるための準備をする。  ・自分の「成長」を大きな用紙にまとめる。（２）  ・「自分の成長を支えてくれた人の存在や自分との関わり」について考える場をつくる。（１）（発表会の名称も決める。）  自分はたくさんの人に支えてもらったことが分かったよ。  感謝の気持ちを伝えたいな。  ・発表原稿を書く。（自分が一番伝えたいことは何？）（２）  ・発表練習をする。♢国語科「話すこと・聞くこと」（３）  ・リハーサル（１）  ・本番（１）✿授業参観日（２/２１　学年末PTA）  感謝の気持ちが伝わるように、「ありがとう」と伝えたよ。  お家の人が喜んでくれてうれしかったよ。  ・振り返り（１） | ②  ③ | ⑤ | | ③ | | ・発言  ・行動観察  ・表現している作品  ・発表原  　稿  ・発表練習の様子 |
| **小単元４**  **(5時間)**  **これからの自分について考えよう！**  自分たんけん④  ○生活４時間  □学級１時間 | 30  31  32  33  34 | ○どんな自分になりたいか、どんな３年生になりたいか、そのために残りの１か月をどのようにすごすかを考え、ワークシートに記入したり、伝え合ったりする。（１）  ３年生にアンケートやインタビューのお願いをする。  ・３年生で楽しい（楽しかった）こと、頑張ったこと、大変だったこと等  ・２年生へのアドバイス（３年生になるまでに、こんなことをがんばってほしいよ。こんな３年生になってほしいな等）  ○３年生の声を知って、ワークシートに書き加える。（１）  □学級活動で、「キャリア・ノート」に記入する。（１）  ○これからの自分について全員で伝え合う。（１）  ○単元のふりかえりをする。（１）  〈期待する子どもの声〉  ・自分が成長したことをたくさん見つけた。  ・これまでいっぱいがんばってきたんだなと思った。  ・きらきらカードをおくりあうのが楽しかった。  ・成長できたのは、自分のがんばりもあるけど、支えてくれた人のおかげでもあるとわかった。  ・これからもがんばっていきたい。  ・○○な（一生懸命にがんばる、優しい、協力する）３年生になりたい。 |  | ⑥ | | ③ | | ・発言  ・行動観察  ・ワークシート |

４．本時の指導（１２/３４）

**本時のねらい**　自分のよさや成長について、友だちからもらった「きらきらカード」を読んで、思ったことを出し合ったり、見つけた自分のよさをワークシートに書き入れる活動を通して、今まで気づけていなかった自分のよさや成長に気づいたり、友だちのよさを見つけることができる自分のよさや成長に気づいたりすることができるようにする。

**本時の評価規準**今まで気づけていなかった自分のよさや成長に気づいたり、友だちのよさを見つけることができる自分のよさや成長に気づいたりしている。

**具体的な児童の姿**

・自分のいいところを友だちが見つけてくれてうれしいな。

・自分には優しいところがあることに気づいたよ。

・自分では気づけなかったよさがわかったよ。

・友だちのよさを見つけることができたことも自分のいいところだな。

・もっと他の人にも自分のよさを聞いてみたいな。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の活動 | 指導及び留意点 | 準備物、評価 |
| ２分  ５分  ５分  １２分  ６分  １５分 | １．本時のめあてを確認する。  ２．「きらきらカード」を読む。  ３．「きらきらカード」をもらって思ったことを出し合う。  ４．「きらきらカード」を見て、ワークシートに自分のよさや成長を書き足していく。  ５．書き足して気づいたことや思ったことを出し合う。  ６．本時のふりかえりを行って、次の活動につなぐ。 | 〇めあてを確認することで、本時の見通しをもつことができるようにする。  **めあて**  友だちからの「きらきらカード」を読んで、自分のよさやせい長を見つけよう！  ・「きらきらカード」が入っている一人ひとりのポストを授業前に配っておく。  〇「きらきらカード」を読んで思ったことを尋ねる。  〈予想される児童の姿〉  ・いいところを見つけてもらえてうれしい。  ・たくさんいいところを書いてもらってうれしい。  ・友だちにもっと「きらきらカード」を書きたいと思った。  ・自分では気づいていなかったいいところがあった。  〇道とく「きらきらみーつけた！」の学習を振り返ることで、友だちが喜んでくれたことから、友だちのよさに気づけるところも自分のいいところだと気づけるようにする。  〇自分の成長やよさをまとめたワークシートに友だちから教えてもらったよさや成長を赤鉛筆で書き足すようにする。  〇どのように書くか見本を掲示する。  〇どこに書けばよいかわからない児童には声かけをしていく。  ○前半７分は自分で書き足す時間。残りの５分はグループで協力して書き足す時間にする。  〇「きらきらカード」は自分のきらきらポストに入れ、生活ファイルに入れるようにする。  〇分かったことや気づいたことを黒板にまとめる。  〈予想される児童の姿〉  ・いいところがたくさん見つけられた。  ・友だちに聞くといいところが見つかると分かった。  ・自分では見つけられなかったいいところが見つけられた。  〇友だちに聞くと、新しいよさや成長に気づいたということをまとめる。  〇本時の話し合いをもとに、新しく気づいたことや、これからしたいことを書くようにする。  〈予想される児童の姿〉  ・友だちに聞くといいところが見つかると分かったよ。  ・自分のよさや成長をもっと見つけたいな。  ・ほかの人（先生やお家の人）にも聞いてみたいな。  〇ふりかえりを発表してもらい、次はだれに聞いてみたいか、いつ、どうやって聞くとよさそうかをたずね、自分たんけん③への意欲を持たせる。 | 生活ファイル  きらきらポスト  掲示物  ◎評価  ワークシートや発言から見とる。 |